

令和7年度

石井中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 創意工夫された楽しくわかる授業づくり
- 家庭学習習慣の定着

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や生徒・教員へのアンケート等、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的内容を理解しようと努力する生徒が多い</p> <p>●家庭学習の習慣化、充実を図ることが継続的な課題である。また、テスト後の復習等の習慣化も図れていない</p>	<p>・授業に目的意識をもって臨み、学んだことを習熟している</p> <p>・毎日、家庭学習の時間を確保し、予習・復習が習慣化している</p>	<p>・授業の復習となる課題や反復を伴うプリント・ワークを課し、それらの確認を定期的に行う</p> <p>・テスト後の復習の重要性を理解させ、自主勉強ノート等に復習することを習慣化させる</p>	<p>・これまでの取り組みを継続していく</p>	<p>・88%の教員が定期的にノートやワーク等を点検し、生徒の学習状況の把握を行った</p> <p>・家庭学習が1時間未満の生徒は34%と昨年度43%より改善がみられたが、十分な時間の確保には至っていない</p>	<p>・家庭学習の習慣化、学習内容の充実を図ることが課題である</p> <p>・42%の生徒がテスト後の復習を行っていない。習慣化させている教員も68%であり、引き続き、その重要性を理解させ習慣化を図っていく</p>

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○話し合い活動の良さを認識している生徒、考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い</p> <p>●自分の考えや意見を表現することに消極的な生徒が多い</p>	<p>・表現が工夫できる</p> <p>・理由が述べられる</p> <p>・思考の過程を説明できる</p>	<p>・話し合い活動を積極的に設定する</p> <p>・考え方や解き方、根拠を問う問題をテストや課題、制作等に取り入れる</p> <p>・教師の授業力向上を図るため、授業力向上研修(レッスンウィーク)を設ける</p>	<p>・これまでの取り組みを継続していく</p>	<p>・考え方や解き方、根拠を問う問題をテストや課題、制作等に取り入れている教員は80%と昨年度92%を大きく下回った</p> <p>・授業中の発表に対して消極的な生徒が29%と昨年度より少し減少した</p> <p>・レッスンウィーク等を利用した授業参観が十分でなかったと20%の教師が回答した</p>	<p>・話し合い活動の良さを実感できている生徒は87%と昨年度を上回り、引き続き活動を行っていく</p> <p>・考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組む生徒も87%と多く、今後も発展学習の充実も図る</p> <p>・教師の授業力向上を図るための研修について見直し、工夫改善していく</p>

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○始業時の着席や授業準備ができている生徒は多い</p> <p>●自ら疑問や課題をもって授業に臨む生徒は少ない</p>	<p>・始業時の準備を徹底し、授業中のルールを守り、周りとともに学び合える</p> <p>・自ら疑問や課題をもって、主体的に取り組む</p>	<p>・毎時間、「目標」「振り返り」を提示し、計画的な指導を展開する</p> <p>・タブレットコンピュータ等(ICT)の効果的な活用を図る</p>	<p>・これまでの取り組みを継続していく</p>	<p>・94%の生徒が、始業時の着席と授業準備ができていると答えた</p> <p>・めあての提示に24%、ふりかえりの実施に32%の教師が十分でないと回答した</p> <p>・90%の生徒がタブレットコンピュータの活用が学習に役立つと答えた。また、効果的な活用を図った教員は80%(昨年度75%)と昨年度を上回った</p>	<p>・今後も、生徒自らが疑問や課題をもって、主体的に取り組む場面を積極的に設定する</p> <p>・「目標・振り返り」を提示し、計画的な指導を全教職員で徹底する</p> <p>・引き続き、タブレットコンピュータの効果的な活用を図っていく</p>